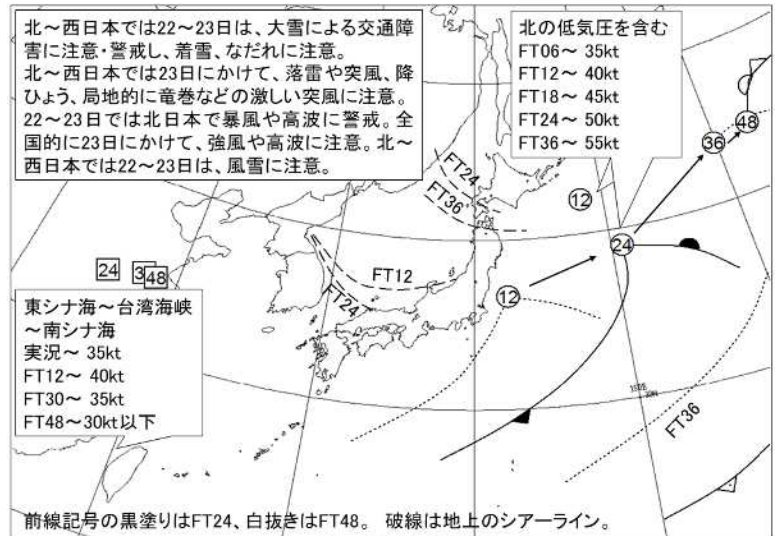


### 1. 実況上の着目点

- ① 朝鮮半島付近に 500hPa -33°C以下の寒気を伴ったトラフがあって東進。トラフ前面の三陸沖に低気圧があり東北東進。
- ② 日本海にはシアーラインがあって東北地方を指向している。シアーライン付近では大気の状態が不安定となっており、活発に発雷。
- ③ 南西諸島から西日本太平洋側は、気圧の谷となっており、21日9時に四国沖に低気圧が発生して東北東進。低気圧付近では1時間15mm程度の雨を解析。
- ④ アムール川下流付近には 500hPa で-39°C以下の寒気を伴った寒冷渦があって、南南東進。



主要じょう乱解説図

### 2. 主要じょう乱の予想根拠と防災事項を含む解説上の留意点

- ① 1項①の寒気を伴ったトラフは、21日夜には本州付近に進む。1項①の低気圧は、21日夜には千島近海へ進み、その後不明瞭となる見込み。
- ② 1項③の低気圧は東北東進して21日夜には関東の東に達する。その後22日は2項①のトラフに追い付かれる形となって急速に発達しながら日本の東を北東進。この低気圧とモンゴル付近の高気圧との間で西高東低の冬型の気圧配置となり、日本付近は寒気移流が強まる。北～東日本では 500hPa で-33°C以下、850hPa -9°C以下、西日本でも 850hPa -6°C以下の強い寒気が流入し、大雪となる所がある。北～西日本では 22～23 日は、大雪による交通障害に注意・警戒し、着雪、なだれに注意。
- ③ 1項②のシアーラインは 22 日にかけて日本海を南西進する。一方、1項④の寒冷渦は 21 日に沿海州付近へ南下し、22 日にかけてオホーツク海へ東進する。対応して、22 日は日本海北部に地上のシアーラインが顕在化し、22 日夜にかけて北日本を南下する。地上のシアーライン周辺や 2 項①②の低気圧周辺では、下層暖湿気と上空寒気の影響で、大気の状態が非常に不安定となる所がある。北～西日本では 23 日にかけて、落雷や突風、降ひょう、局地的には竜巻などの激しい突風に注意。
- ④ 日本付近は冬型の気圧配置となることに加え、2 項①②の低気圧や 2 項③の地上のシアーラインの近傍では気圧の傾きが大きく、23 日にかけて強い風や局地的に非常に強い風が吹いて、波が高くなり大しけとなる所がある。北日本は 22～23 日は暴風や高波に警戒。全国的に 23 日にかけて、強風や高波に注意。北～西日本では 22～23 日は、風雪に注意。

**3. 数値予報資料解釈上の留意点** 総観場は GSM を基本、量予想や降水分布は MSM や LFM も参考。

- 4. 防災関連事項 [量的予報等]** ① 雨量(18時からの24時間)：多い所(100mm以上)はない。② 降雪量(18時からの24時間)：関東甲信・北陸・東海 60、東北・近畿・中国 50cm。③ 波浪(明日まで)：東北 6、伊豆諸島・北陸 5、その他広い範囲で 3～4m。④ 高潮(明日まで)：北日本では、注意報基準を超過する所がある。

**5. 全般気象情報発表の有無** 「大雪に関する全般気象情報」を 17 時頃に発表予定。